

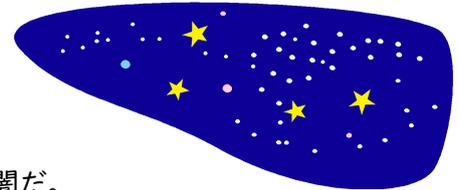


第10号 令和5年12月15日(金)発行

敦賀気比高等学校・同附属中学校 教育相談室

メールアドレス [sodan@tsurugakehi.ed.jp](mailto:sodan@tsurugakehi.ed.jp)

## プラネタリウム



人は、プラネタリウムをかぶって生まれてきた。

それは、生まれたときには、何一つとして映し出せるものではなく、暗闇だ。

でもすぐ、あなたは本能的に学習し始め、認識した情報を一つ、また一つと記<sup>し</sup>ていく。

そして今では、「あなた」は多くの星々が散りばめられた一つのプラネタリウム館の館長だ。

毎日、館内のスクリーンに投映して、情報不足の部分を補って推測し、世界理解に努めている。

あなたが、たとえ家族や友人、多くの仲間の中に居ても、「あなた」は館内に「独り」である。

一人ひとりが自分のつくり出したプラネタリウムを見上げながら、日々の生活を送っている。

人の言動による客観的な現実には、人それぞれの「思い」が伴っていることが多い。

しかも、それらの「思い」は、人と人の間で断絶している。

なぜなら、それぞれの人が見上げているプラネタリウムが異なっているからだ。

対人関係において、他人の「あなた」に対する「思い」については、誤解を生じることが多い。

お互いのプラネタリウムの中に「あなた」が居るのだが、その「あなた」は一致していない。

それぞれの「あなた」がその人に帰属していて、その人の中の「あなた」は、その人自身である。

だから、その人の「あなた」に対する「思い」は、その人に任せておけばよい。



対人関係において、

私たち一人ひとりができ得る最高のパフォーマンスは、おめでたい思考である。

「目には目を、歯には歯を…」ではなく、

「目は目薬として？ 歯は歯ブラシとして？ 言動には自らよい意味づけをして… 受け取ろう」である。

人の「思い」は断絶しているのだから、「あなた」のする解釈であなたの世界をつくっていけばよい。

ならば、あなたが負の連鎖を生み出していくのではなく、和の始まりをつくる方がどれだけよいだろう。



## スクールカウンセリングのご案内

1月は、下記の日程でスクールカウンセリングを行います。

気持ちが少し疲れて、誰かと話してみたいと思う人は、担任の先生あるいは教育相談室まで申し出てください。

第1回 16日(火) 第2回 23日(火) 第3回 30日(火)

※ スクールカウンセラーの先生のご都合で、日程が変更になることがあります。  
あらかじめご了承ください。

